

【求める15歳の姿】
受け入れ合い
支え合い
高め合う生徒
～互いの考えや意見を尊重
した発言・意見を通して～

鷺 中



TEL86-7950 fax86-7961

発行責任者：校長 鈴木 恭 朗

鷺別中の生徒会が海星学院の生徒会にペットボトルキャップを寄付

各ご家庭などから中学校に持参してくださったペットボトルキャップを生徒会メンバーとボランティア部員がこの1年間、定期的にきれいに洗い、このたび、約1万2400個と書き損じはがき160枚を海星学院高等学校に持参し、寄付してまいりました。本校生徒会長の [] さんから海星学院高生徒会長の [] さんに目録を手渡し、 [] さんからは、以下のようなメッセージをいただきました。

このたびは、寄付していただき、ありがとうございます。ペットボトルキャップは難病研究や、貧困の国の支援、カンボジアの教育支援へ使われ、書き損じはがきは、寺子屋運動に使われています。海星では、ほかにも不必要になった物品も回収しているので、今後とも海星学院にご協力お願いします。改めて、このたびはありがとうございました。



室栄2年 [] さん 本校で3日間インターンシップ体験 10/18-20

将来は、数学の先生が理学系の進路を希望しているという本校卒業生の [] さん。「自分が中学生のときは、先生方の業務の複雑さや分量の多さに気付かませんでした」と驚きながらも懐かしそうに給食を楽しんだり、休み時間は生徒と談笑したりするなど、3日間、意欲的にインターンシップに取り組みました。進路選択の一助になると私たち学校側も嬉しいです。



職員室で先生方に挨拶する [] さん。将来の希望をしっかりと伝えてくれました。



二年生数学の授業を参観し、教員の指示や指導方法、生徒の反応などメモしていました。

日没が早まるなかでの交通ルールの遵守やほかの歩行者に対するマナーについて

先週号の学校だよりでも触れましたが、日没時刻が早まり、部活動終了後はすでに通学路は暗くなっている状況です。車のドライバーからは、歩行者を見つけにくいです。横断歩道がない場所での突然の横断歩行（ダッシュ）や歩道からはみ出し歩行は大変危険です。

また、マスクを外しての大声での会話、すれ違った人に対する仲間うちでの笑いなど、一部生徒に心配な事象も見られます。「地域に愛される学校 鷺中」であってほしいと願うとともに、御家庭での話題にも取り上げていただければ幸いです。

